

## 抗 Hepatitis C Virus (HCV) NS5a 抗体、マウスモノクローナル (8926) ビオチン化

65-063 50 µg

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。

**抗原:** HCV genotype 1b の NS5a タンパク質領域の一部(ヌクレオチド配列は文献 4 に記されている)を *E.coli* に発現させたもの

**形状:** 精製モノクローナル抗体 (IgG) 0.8mg/ml in PBS<sup>-</sup> with 50% glycerol, 濾過滅菌

本製品は IgG 画分をビオチン化 ([biotin]/[IgG] = 9.6) したものである。

**Isotype:** マウス IgG 2a $\kappa$

**反応性:** ヒト HCV NS5a タンパク質 (genotype 1b, 他のタイプではてすとしない)。

### 用途

1. ウェスタンブロッティング
2. 免疫蛍光染色
3. FACS

**背景:** Hepatitis C virus (HCV) は小さなサイズ(直径 55-65 nm)のエンベロープを持つ球状粒子であり、フラビウィルス科に属する RNA ウィルスである。ゲノムとして 9.4kb のプラス一本鎖 RNA を持ち、非 A 型非 B 型肝炎の大部分がこのウィルスによるものである。ゲノム上には 3,010 アミノ酸残基から成る巨大な前駆体タンパク質をコードする長い open reading frame が存在する(1, 2, 3)。前駆体タンパク質は宿主およびウィルス由来のタンパク質分解酵素によって切断され、4つの構造タンパク質 (core, envelope1, 2 と p7)と、ウィルスの複製に必要な 6つの非構造タンパク質 (NS2, 3, 4a, 4b, 5a, と 5b) が生成される。NS5a タンパク質の主な役割についてはわかっていないが、他のウィルスとの比較研究より RNA replication に重要であると思われる。

データリンク: Swiss-Prot [HCV protein](#)

**文献:** この抗体は文献 4 にて作成、使用された。

1. Choo Q-L *et al* (1989) "Isolation of a cDNA clone derived from a blood-borne non-A, non-B viral hepatitis genome" *Science* **244**: 359-362 [PMID: 2523562](#)
2. Kato N *et al* (1990) "Molecular cloning of the human hepatitis C virus genome from Japanese patients with non-A, non-B hepatitis" *Proc Natl Acad Sci USA* **87**: 9524-9528 [PMID: 2175903](#)
3. Takamizawa A *et al* (1991) "Structure and organization of the hepatitis C virus genome isolated from human carriers" *J Virol* **65**: 1105-1113 [PMID: 1847440](#)
4. Manabe S *et al* (1994) "Production of nonstructural proteins of hepatitis C virus requires a putative viral protease encoded by N3" *Virology* **198**: 636-644 [PMID: 8291245](#)

**関連製品:** [#65-061 anti-HCV NS5a antibody](#) [#65-064 anti-HCV NS5a antibody FITC-labeled](#)

次ページへ

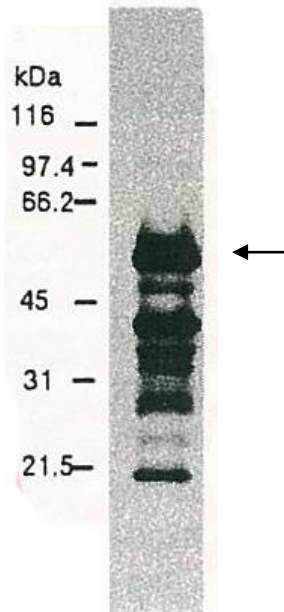


図1 HCV NS5a タンパク質のウエスタンブロッティング

チンパンジー肝細胞に HCV ゲノム cDNA を含む組み換えワクチニア ウィルスを感染させ、抗 NS5a 抗体でウエスタンブロッティングした。NS5a 特異的バンドが多数見られるのは NS5a タンパク質 (矢印、52 kD) の分解産物である(文献4)。

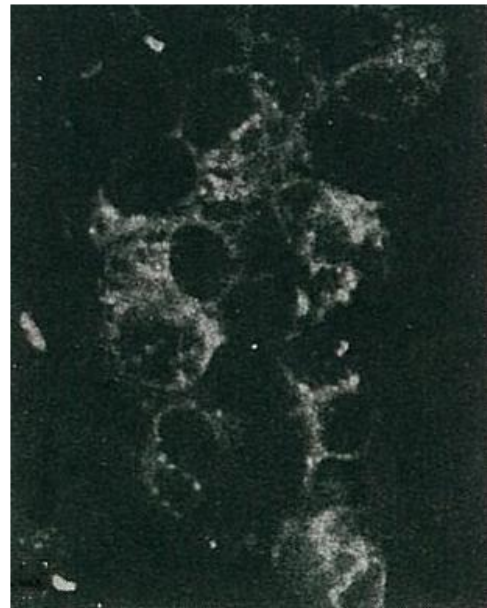


図2 HCV NS5a タンパク質の免疫蛍光染色による検出

チンパンジー肝細胞に HCV ゲノム cDNA を含む組み換えワクチニア ウィルスを感染させ、48 時間後に細胞をアセトンで固定し、HCV NS5a タンパク質をこの抗体を用いた間接免疫蛍光染色で検出した。